

令和 2 年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座—国際子ども図書館所蔵資料を使って」開催要項

全国の各種図書館等で児童サービスに従事する図書館職員、児童書研究者（学生含む。）、児童書出版関係者等の知識のかん養に資することを目的として、国際子ども図書館が所蔵する国内外の児童書及び関連書を取り上げた児童文学連続講座を開催します。

1. 主催：国立国会図書館国際子ども図書館
2. テーマ：「10代に手渡す物語—ヤングアダルト文学総論」
3. 開催日：令和2年11月9日（月）及び10日（火）
4. 形式：ウェビナー形式（Webex Events を使用）
※利用する PC、インターネット環境は、受講者が各自で御用意ください。また、Webex Events の実行環境についても各自で御確認ください。サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。なお、動画視聴による PC 環境等の不具合については責任を負いかねます。御了承ください。
5. 対象：児童サービス担当図書館職員等 各講義定員 1,000 名程度
6. 受講費：無料
7. 内容及び講師：別紙のとおり。
※ 講座内容、時間割は、都合により変更になることがあります。
8. 申込方法：当館ウェブサイトに掲載の Webex Events による申込フォームからお申し込みください。URL は以下のとおりです。

<https://www.kodomo.go.jp/study/chair/index.html>

※ 申込締切：令和2年10月18日（日）17:00

- ※ 講義単位での申込みとなります。受講を希望する講義を選択し、申込み（登録）を行ってください。
9. 接続テスト：11月1日（日）、2日（月）及び7日（土）に、Webex Events への接続テストを行います。御希望の方は、申込みフォームからお申込みください。
※ 各回 10 分程度、同じ内容です。ウェブサイトに掲載のマニュアルを御覧の上、接続の御確認をお願いいたします。
※ 受講者に各自で Webex Events の実行環境を確認していただくためのテストです。利用する PC、インターネット環境は、各自で御用意ください。サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。なお、動画視聴による PC 環境等の不具合については責任を負いかねます。御了承ください。
10. 受講通知：参加承認後、Webex から登録承認完了のメールが送付されます。
11. 修了証書：修了証書の交付は行いません。
12. 問合せ先：国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課協力係
TEL：03-3827-2053（開館日の 9:30 から 17:00 まで）
FAX：03-3827-2043
電子メール：kenshu★kodomo.go.jp（★を@（半角）にしてください。）
〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

(別紙)

テーマ 「10代に手渡す物語—ヤングアダルト文学総論」

ヤングアダルトという言葉がアメリカから入ってきてほぼ40年たち、日本でも定着してきましたが、ヤングアダルト向けの図書の選書や図書館サービスについて、戸惑いや困難を感じている図書館関係者も多いのではないのでしょうか。2018年に文部科学省が策定した第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」においては、中高生、特に高校生の「不読率」が話題になり、読書活動の活性化が望まれています。そんな10代の読者に、私たちは何をどう手渡したらよいのでしょうか。今回の講座では、ヤングアダルトを取り巻く状況に目を向け、ヤングアダルト文学に親しむことで、私たちからティーンエイジャーに歩み寄る一歩を踏み出したいと思います。ヤングアダルト文学といっても、現代の日本にはライトノベルという新しいジャンルもありますし、海外ではイラストを多用した小説グラフィックノベルも注目されています。講座では、日本および英米のヤングアダルト文学、ライトノベル、グラフィックノベルについて、また、図書館における活動について紹介をしておく予定です。

監修 白井 澄子（白百合女子大学人間総合学部教授、国立国会図書館客員調査員）

※各講義の冒頭に、受講に際しての注意事項等の御連絡と講師紹介を予定しています。

○講義1

日時	タイトル及び講師	内容
11月9日(月) 10:00-12:00	「21世紀の英米ヤングアダルト文学—物語がもつ力と危険性」 水間 千恵（川口短期大学教授）	メディアの多様化が進むいま、読書という形で物語世界を体験することの意味を、英米ヤングアダルト作品を例に考察します。同時に、普段見落とされがちな、物語がもつ負の側面にも目を向けたいと考えています。

○講義2

日時	タイトル及び講師	内容
11月9日(月) 13:30-15:30	「ヤングアダルト書籍としてのライトノベル」 大橋 崇行（東海学園大学准教授）	図書館ではヤングアダルトコーナーに排架されることが多いライトノベルですが、シリーズを買い続けることの難しさや、性的な表現の介入、流行の期間が短いこと、多様な作品の刊行など、さまざまな問題を抱えています。本講座では、それらの問題について、子どもたちと本との関わり方という視点から、考えていきたいと思っています。

○講義 3

日時	タイトル及び講師	内容
11月9日(月) 16:00-16:40	「国際子ども図書館の中高生向けサービス」 国立国会図書館国際子ども図書館職員	国際子ども図書館の「子どもと本をつなぐ」ための様々な取組のなかから、リニューアル後の平成28年から開始した中学生・高校生向けのサービスをご紹介します。

○講義 4

日時	タイトル及び講師	内容
11月10日(火) 10:00-12:00	「現代日本児童文学と「ヤングアダルト文学」」 奥山 恵 (児童書専門店経営、白百合女子大学非常勤講師)	日本でヤングアダルト文学という用語がひろまってきた経緯を、「ヤングアダルト出版会」「朝の読書」といった出版や読書運動の動き、また「タブーの崩壊」「ボーダーレス」といった関連する日本児童文学の動きとともに整理し、具体的に中高生以上の読者にすすめたい日本の作品について考えます。

○講義 5

日時	タイトル及び講師	内容
11月10日(火) 13:30-15:30	「英語圏のヤングアダルト文学と図書館活動」 白井 澄子 (白百合女子大学教授、当館客員調査員)	英語圏ではどのようなヤングアダルト(YA)文学が書かれ、読まれているのでしょうか。初期の問題小説から現代のグラフィックノベルまでを概観し、扱われるテーマや表現の変化、読者の反応についてお話しします。また、今、どのようなYAサービスが必要とされ、実際に実践されているかについても紹介したいと考えています。

講師略歴（五十音順）

大橋 崇行（おおはし たかゆき）

上智大学文学部、同大学大学院文学研究科国文学専攻博士前期課程を経て、総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻博士後期課程修了。博士（文学）。高等学校非常勤講師、岐阜工業高等専門学校助教、東海学園大学人文学部講師を経て現在同学部准教授。主な研究分野は日本近代文学、小説創作、国語教育。

著書 『司書のお仕事 お探しの本は何ですか？』（勉誠出版,2018.）、『遥かに届くきみの聲』（双葉社,2020.）等

論文 「『幽霊』と『神経病』 三遊亭円朝『真景累ヶ淵』の再編成」（『言語社会』第13集,2019.）、「少女たちの冒険と探偵 西條八十『魔境の二少女』」（『JunCture 超域的日本文化研究』第10集,2019.）等

奥山 恵（おくやま めぐみ）

千葉大学大学院教育学研究科修了後、都立高校勤務を経て、2010年より千葉県柏市にて児童書専門店「ハックルベリーブックス」を経営。児童文学評論家としても活躍。白百合女子大学、共立女子大学、二松学舎大学等非常勤講師。

著書 『〈物語〉のゆらぎ：見切れない時代の児童文学』（児童文学批評の新地平；3）（くろしお出版,2011.）、『絵本ものがたり FIND：見つける・つむぐ・変化させる』（シリーズ絵本をめぐる活動；2）（共著、朝倉書店,2016.）、『「時」から読み解く世界児童文学事典』（共編著、原書房,2017.）等

論文 「吉野源三郎「リンカーン伝」生成考」（『児童文学研究』35号,2002.）

白井 澄子（しらい すみこ）

青山学院大学文学部卒業、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）図書館情報学科修士課程修了。立教女学院短期大学助教授、白百合女子大学助教授等を経て、白百合女子大学人間総合学部児童文化学科教授。主な研究分野は英語圏、特にカナダの児童文学。2014年から2016年まで日本イギリス児童文学学会会長。2019年4月から国立国会図書館国際子ども図書館客員調査員。

著書 『赤毛のアン』（シリーズもっと知りたい名作の世界；10）（ミネルヴァ書房、共著,2008.）、『英米児童文化55のキーワード』（世界文化シリーズ；別巻1）（ミネルヴァ書房、共著、2013.）等

論文 「ヤングアダルト文学のゆくえ—英米のYA文学を概観して（特集 YA（ヤングアダルト）文学）」（『白百合児童文化』17,2008.3 所収）等

水間 千恵（みずま ちえ）

名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程修了。博士（文学）。（財）大阪国際児童文学館専門員等を経て、現在川口短期大学こども学科教授。主な研究分野は児童文学、特に冒険小説とヤングアダルト文学。

著書 『女になった海賊と大人にならない子どもたち—ロビンソン変形譚のゆくえ』（玉川大学出版部,2009.）、『「時」から読み解く世界児童文学事典』（共編著、原書房,2017.）等

論文 「テレビアニメのロビンソンたち—『冒険ガボテン島』と『無人惑星サヴァイヴ』」（『川口短期大学紀要』32,2018.12 所収）、「絵本で考える性の多様性」（『川口短期大学紀要』33,2019.12 所収）等